

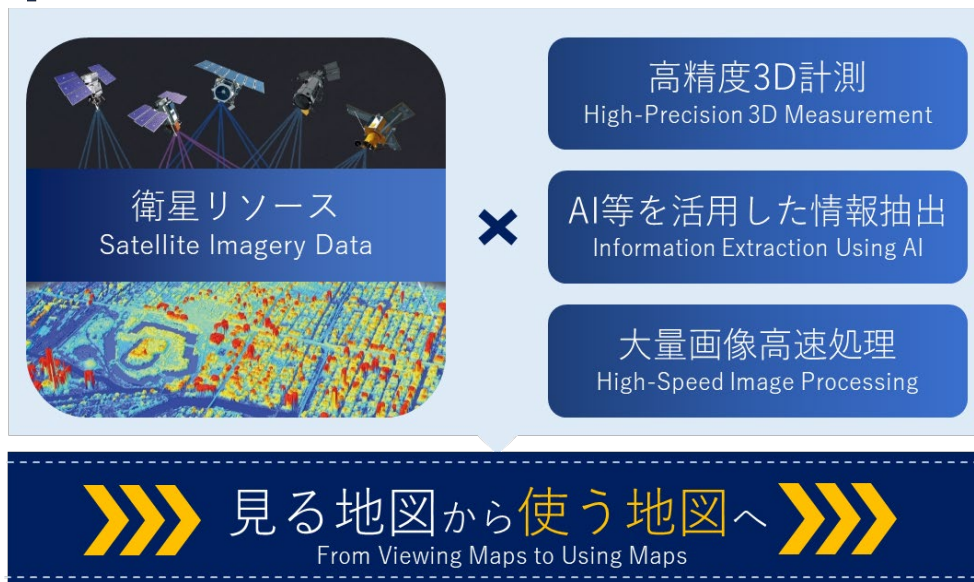
マルチビューステレオ技術による衛星3D地図

インフラ事業者などが、衛星3D地図を活用することにより、
現地調査の回数を減らせます

#顧客体験価値向上 #業務効率化 #グリーントランスフォーメーション

Multi-view Stereo Technology

マルチビューステレオ技術



///技術課題

広範囲かつ複雑な地形において高精度・高解像度に
再現できる技術がありませんでした。

///研究目標

3D地図技術によりテレコム、都市計画、森林管理な
ど幅広い業界へ利用拡大・市場創出します。

---要素技術

- 当社の独自の画像処理技術、マルチビューステレオ処理を用いて、大量の衛星画像データから高精度な3Dモデルを生成
- この先進技術により、地形や建物などの詳細で正確な3Dデータを提供

---市中技術差異点

世界で初めて5m解像度の細かさで地球上の全ての陸地の起伏を表現した「デジタル3D地図」

---適用ビジネス

テレコム分野における電波伝搬シミュレーションを通じた無線ネットワーク設計や都市計画分野における環境シミュレーション、森林管理分野における資源量把握など、インフラ整備、防災、環境モニタリング、公衆衛生等の幅広い分野のシミュレーションに活用。
(2014年からサービス提供中。衛星画像データ市場規模：3,000億円（2030年）)